越谷町広報

発行所
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場企画室
電話越谷42,517,519番

二月は固定資産税第四期の納期です

納税は輝く町の土台石
（納税強調標語入選作品）
大袋中二の一　野田　省三

連日中央に陳情
三十一年度予算編成始まる

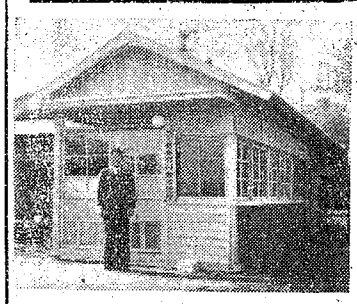
昭和三十一年度予算の骨格については過日来、各課及び教育委員会が、要求案を準備しつつありますが、町民の皆さんもご存じのとおり、国においては公共事業費を三十年度に八十八億円削減し、三十一年度においても大巾の削減をするやに報道されており、公共団体としての事業推進に大きな支障を生ずるものと今から懸念し見守つております、加えて農業委員会の方向についても、農業団体再編成等のため、補助金確保も困難な見通しであります

これが編成に各課苦慮

本年度予算編成は以上の点から慎重なる検討を必要とし、目下各課においてこれが編成に苦慮しております

国の事業補助金については、町長と関係課長、教育長同道、一月十日以来連日中央に陳情してこれが確保に当つております、この陳情によりますと、水道関係に対する厚生省の見解としては、一応本年度の申請は許可するが、これが起債の点は上水道簡易水道とも、継続事業分として五百億円にも達しており、新規事業はいまのところ望めないが、その時の情勢によつて決定される含みがあります、水道金庫事業として水道債券を発行しこれにあてる法案を国会に提出する準備を進めているが困難な状態にあります、東中学校補助金についても、国会や文部省、県等に陳情しましたが、文部省として統合中学校施設費三億円の復活要求がなつたので、県の枠如何によつては明るい見通しであります

川柳出張所の増改築終る



川柳三部落編入合併に伴い、川柳地区の住民の便をはかるため出張所を設置いたしました、この出張所は元草加警察署の川柳駐在所であつたので事務室に増改築したもので、十二月定例町議会に決定をみた十二万五千円の予算で写真のような出張所が出来ました、ここで中村出張所長と、飯高書記が事務をとつております

選挙公報（5）

浦和検察審査員候補者決る

浦和検察審査員候補者として当町に十四名の割当がありましたので、町選挙管理委員会では去る一月十日午後一時より役場に選挙管理委員が参集し、挙選人名簿の中から抽せんの結果、次の諸氏に決定いたしました、このようにして選ばれた県下各町村の候補者中から、更に浦和検察審査委員会において抽せんしはじめて県の正審査員となつて職務を果すことになります

浦和検察審査員候補者
▲越ケ谷＝大野恵三郎、石塚金三郎、田中金造▲船渡＝神田精志▲増林＝滝田正文▲西方＝加藤進教▲大沢＝小原菊三郎、島田頼正▲蒲生＝神谷和可▲西新井＝松永与悦▲三野宮＝鈴木晃爾▲七左衛門＝松永ゑい▲大里＝深野きみ▲麦塚＝飯高流造

なお審査員の仕事は、いわば検察官に対してお目付役の仕事をするわけで、別に法律などの特別な知識をもつていることを必要としません

本町に投票区一カ所を増す

川柳三部落の編入合併に伴い、公職選挙法の規定によつて次のとおり一カ所投票区を設けることになり、昭和三十一年一月七日選挙管理委員長名で告示いたしました、いままでご承知のとおり二十六投票区で選挙を行つておりましたのが、これによつて二十七投票区になるわけです

第二十七投票区名
投票区＝大字上谷、麦塚、伊原区域
（総務課選挙係）

役場の主な日誌

一月十一日　△午前九時新方領用水堤町長土木課長巡視△午前十時三〇分浦和に国土調査理事会△午前九時大袋支所で第二地区農業委員会議産業課長出席

十二日　△午前八時役場集合教育委員教育長議長が管内小、中学校巡視△午前十時春日部に町村会あり町長出席△午後一時役場に広報専門委員会

十三日　△午前十時浦和に町村会役員会町長出席△午後一時役場会議室に元荒川改修説明会

十四日　△午前九時新方に引揚住宅について町長、厚生課長出席

十五日　△午前九時越ケ谷中学校に成人式、町長、議長出席△午前十時より午後三時大沢小学校に展覧会、バザー、書初展の表彰式

十六日　▽午前十時北本宿村役場に元荒川改修促進準備会△同桜井小学校学芸会△午後一時蒲生弾丸暗渠工事町長視察、午後二時大松地内農道拡張視察及び供米督励を町長、産業課長行う

十七日　△午前十時県庁へ弾丸暗渠補助について町長、産業課長出張△午後二時、出羽支所婦人会役員会に町長、厚生課長出席

十八日　△午前十時役場会議室に消防団長会議、助役、総務課長出席△午後一時消防委員会助役、総務課長出席

十九日　△午後一時木曜会結成

二十日　△久喜に土地改良役員会助役出席△午後三時蒲生公民館に農業委員会議町長出席

町民の健康保持に保健婦設置

国民健康保険はお互が助け合つて、私達の体を守つてくれます町民の健康を守るには病気をなおすだけでなく、病気にならないようにしなければなりませんそれが為には保健婦をおいて、たえず町民方々の体を見守つてゆかねばなりません、そこで町ではこの度保健婦を一名採用いたしまして、一応荻島、出羽両地区を担当させ、三十一年度からは、逐次保健婦を増員いたしまして町全体の健康保持にあたるよう努力しております、この保健婦さんが家庭を訪問して、皆さんがいつも健康で明るい生活の出来るよう、指導したり、病気になつた場合の看護方法をお医者さんと協力して指導し、そのほかいろいろの健康相談や家族計画など、全般にわたつてご相談に応ずることになりました、どうか保健婦さんと親しくなつて自分の健康保持にご協力をお願いします

又家族計画については保健婦さんの指導とあわせ、県が指定した受胎調節指導員がいつも健康な赤ちやんが生れるよう、且つお母さんの体を護るため次の助産婦さんが指導員として指導に当つて頂いておりますのでご遠慮なくご相談下さい

地区名　助産婦氏名（敬称略）
越ケ谷　藤間セン　安井あさ
大袋　鈴木みよ　安井しげ
大沢　橋井綾子　川辺しな
川柳　植竹たき　浜野フク
桜井　深野順子　須賀一枝
森田志寿　田村里津
新方　永野いと　関根くら
増林　滝田ツ子ヨ
蒲生　須賀八重　鈴木松江
出羽　大熊さい　大熊とし子
山下信実（厚生課）
（保健婦の抱負）
高野京子

この度保健婦として越谷町に就任いたしました、どうぞよろしくおねがいいたします、就任いたしまして早一カ月を過ぎようやく町の様子を知り、仕事も出来るようになりましたが、書物の上での理論と実際とでは非常に違いがあり、仕事のむづかしさを感じます、特に農村では土地の習慣、迷信などがまだあるようですが、最近保健婦の仕事が理解されつつありますので、私としても希望と努力をもつて あせらず着実に仕事を果したいと思つております、幸に町民方々も保健衛生には特に理解を持ち力を入れて下さるので心強く思います、私自身何かにつけ都会の生活が恋しくなりがちですが、一日も早くこの町になれ、町の人々と共に生活の改善、営養改善、疫病の予防には地区に応じやすい仕事をやつてゆきたいと思つております

―あちら―こちら―

増林

増林消防分団第一部では、消防の今後のあり方、あるいは大都会消防現有勢力を見たいと、去月六日宮城前における出初式を見学し、いま更ながらその威容に驚嘆し、是非越谷町の全消防団員に見てもらいたいものと思いました

又その足で練馬の予備隊を見学しましたが、現在の予備隊の状況を見て、国土の守り固しと感じました、当局から現代の青年特に農村の二、三男対策として是非予備隊に応募するよう皆さんからおつたえねがいたいとのお土産をいただいて一同帰路につきました、ここに広報を通じお知らせいたします（増林消防分団第一部長島田晴雄氏より）

広報サロン

図書館

（その一）五十円で新年会　向う三軒両隣り――、今どきめずらしい町内全世帯揃つての懇親会が開かれました、袋町第三班では、一月一日に、男子部、一月二日には女子部に別れ、会費は僅か五十円で部落内こぞつて参加し、一年の反省、今年の行事予定までそつくり決めました中でも越谷町立図書館の雑誌を借り受け巡回読書会を行つています（袋町第三班の隣組）

（その二）染谷さん安心して眠つて下さい、去る一月十日、同部落内一人住いの染谷京蔵さん（七四才）が突然逝去しました隣近所の女手の人達は困つてしまいました、それを聞いて同部落の人達がかけつけ、中でも牧野博美さん（三五才）は自転車を走らせ、お寺へ行つたり、棺桶を買いにいつたりして、埋葬まで中島さん宍倉さんと協力して女の人達では出来ない処の仕事を手伝つてくれたので、二日かかる葬式も一日で終つてしまいました、隣近所の人達は感謝し、その行為に感激したのであります、これも新年会が実を結んでか、部落の人達と共に心から、染谷さんの冥福を祈つております（萩原広報連絡員）

文化友の会

越谷町文化友の会ではこのほど放送演劇研究部を作り、第一回の研究会を去る二十六日午後七時より越谷小学校に開き、放送演劇に必要な知識と技能を東京テレビスタジオ演技養成所員を講師に迎え習得いたしました、この部では今後数回この研究会を開き身につけた上、スライドによる幻燈活動をいたします

（萩原文化友の会長より）

管内學校めぐり（1）

大相模小學校

教員室に入り中央に「信」という額と両わきに敬愛の文字が掲示されておりました、川辺校長さんにたづねてみましたら、これは校訓で「信」つまり「まこと」であり、両わきの敬愛は先生から見れば生徒に対し愛でなければならず、生徒から先生に対しては敬でなければならないと申されました

大相模小学校は明治四年十一月十一日に開設され、当時は寺子屋式の施設で、その後明治三十五年学制施行と同時に明治三十五年七月十一日開校され、初代江森校長以来、現在の川辺校長まで十代の校長がつかえてまいりました、児童数は五六三人で十二学級に編成して、十六人の先生が教育にあたつております校地坪数は一九一一坪、校舎坪数四五四坪となつており、小学校の三十年度教育予算八十万二千円で運営されております、三十年の教育努力目標は

（一）環境の整備（二）実力の向上（三）学習指導の能率化（四）事務の能率化（五）個性尊重の教育（六）自主的反省の促進となつており、将来の希望としては

一、各特別教室の設備（理科保健、放送、図書、工作）
二、小使室、宿直室、給食設備湯沸設備拡張
三、南校舎下駄置場の新設
四、旧便所、住宅の瓦葺替

となつております

川辺校長はいつも児童の事が頭にあるらしく次のように話してくれました

川辺校長談「わが校の教育方針は学校教育基本法にもとづき地域性を十分生かしつつ進んでおり、児童の素質向上には口でやかましくいうかわりに先生達がみづから面倒をみてやり、児童の体位にも意を注ぎ給食ということも考え、手近な処から実施してゆこうと味噌汁給食の準備をすすめています」

越谷町立大相模小学校教職員

（敬称略、上から氏名、職名、学歴、現住所）

△川辺通雄（校長）埼師本二卒越谷町越ケ谷八六一△中里　茂（教頭）埼師本卒、越谷町大字見田方一六五〇△藤見秀子（教諭）越ケ谷高女卒）北葛飾郡吉川町平沼二九△立沢美智子（教諭）越ケ谷高女卒、越谷町大字千疋七四三△二ノ宮栄（教諭）児玉高女卒、越谷町大字東方一九二〇△金子　繁（教諭）東京保善高卒、越谷町大字蒲生三九△堀江あや（助教諭）越ケ谷高女卒、越谷町越ケ谷四、五七三△松本よしゑ（助教諭）越ケ谷高卒、北葛飾郡吉川町平沼一一八△矢田部良一（助教諭）越ケ谷高卒、北葛飾郡吉川町平沼三一二△小林次男（助教諭）東京一ツ橋高卒、北葛飾郡吉川町平沼二八七△藤井芳子（助教諭）越ケ谷高卒、東京都葛飾区亀有町二の八九二△植竹日出男（助教諭）越ケ谷高卒、川柳村大字伊原一、一四八△久保谷昌夫（助教諭）春日部高卒、春日部市大字備後八二七△原実（助教諭）杉戸農高卒、春日部市大字大場三六三△鈴木里子（助教諭）越ケ谷高卒、越谷町大字南百四五△石垣静子（助教諭）東京愛国女商四年中退、越谷町大字東方二、一四六

次号には増林小学校を掲載いたします。

綴じて御保存下さい

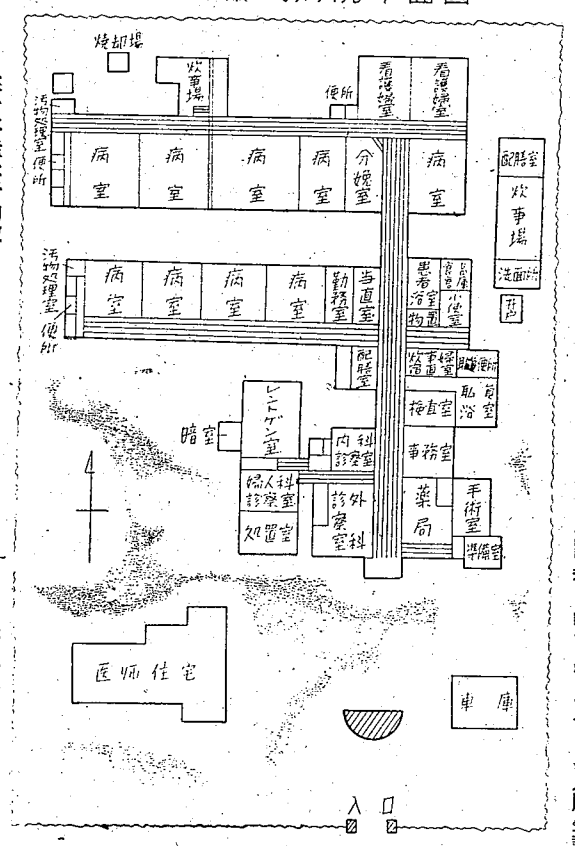
東武病院で適正医療を
結核患者の一掃へ

私達町民の病院として、東武病院を別掲見取図のように治療及び入院設備の整備を行ってまいりましたが、三十一年度からは、とくに結核予防法に基く全住民の健康診断実施に伴い、既報の優秀なレントゲンを購入し予防及び健康保持に万全を期したいと努力しております

このレントゲンは管内全地域に移動し、結核の早期発見を行い医師会と協力して結核患者の一掃を計つております、その他国民健康保険事業の一環である保健婦の巡回指導相談と相まつて治療や育児及び家族計画等のご相談に応じ、特に治療費のお困りの方には厚生課にご相談下されば事情によりご援助の方法も考えております、入院患者や附添の方々の給食にも栄養士が十分栄養を考え奉仕しております

現在当病院は内、外科、産婦人科、呼吸器科の治療を行い、入院患者は結核十三名、一般四名入院中で、毎月一回は慰安の映画を催し、許された患者は風呂に入る入浴設備もあり、皆さんのご期待にそえます東武病院として努めております、尚病院に急患往診のご用については、地元支所の電話で武里七、九一五番を呼び出して下さい（厚生課）

越谷町東武病院平面図



30年度豫約米ここに完納！

三十年産米予約数量は三万七千七十三石二斗で、既報のとおり、昨年中に川柳、新方両地区を残して全地区の完納をみましたがその後川柳地区が一月十日に、新方地区が一月二十日にそれぞれ完納し、次表の八十石五斗を超え一〇〇・二一％の成績をもつてここに越谷町の完納をみたわけであります、生産農家皆さんのご協力に厚く御礼申上げます（産業課）

昭和30年産予約米集荷状況（単位石）（昭31.1.20現在）

地区別	予約数量	集荷数量	%	完納月日
出羽	6,426.4	6,438.4	100.18	12.25
荻島	4,840.5	4,843.6	100.07	12.25
大袋	4,027.4	4,048.0	100.38	12.25
新方	3,497.4	3,502.0	100.27	1.20
増林	4,055.2	4,064.2	100.22	12.20
大沢	989.3	989.6	100.03	12.25
桜井	2,654.4	2,671.6	100.64	12.22
大相模	4,958.0	4,962.0	100.08	12.24
蒲生	3,369.9	3,379.6	100.22	12.24
越ケ谷	269.7	269.7	100.00	12.28
川柳	1,985.0	1,985.0	100.00	1.10
計	37,073.2	37,153.7	100.21	1.11

昭和三十年度第二回 保母試験お知らせ

埼玉県において次により保母になりたいご希望の方を募集しております、受験ご希望者は二月五日までに役場厚生課へ御申出下さい、詳細ご連絡申上げます

一、受験資格

1、学校教育法による高等学校を卒業した者（中等学校令による旧中等学校を卒業した者を含む）、又は厚生大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者

2、満十八才に達して後児童福祉施設において三年以上児童の保護に従事した者

二、試験場所

北足立郡与野町大字大戸六六一県立保健婦専門学院（国電北浦和駅西口下車徒歩十分）

春日部に中小企業労働相談所開設

本年一月十一日から春日部労政事務所内に「春日部中小企業労働相談所」を開設いたしましたこの相談所は、中小企業における労働紛争の防止や、労働管理の改善をはかつて円満健全な労働組合運営をして、労使双方の安定をはかるのがねらいです、この相談所は一応次の通り定例相談日を設けてご相談に応じておりますので、どんな些細な問題でも心おきなく、ご相談におでかけご利用下さることをおねがいいたします、その外相談日以外でも労政事務所にお出になれば、常時すべてのご相談に応じられる態制をととのえております

春日部中小企業労働相談所長　吉田　太賀志

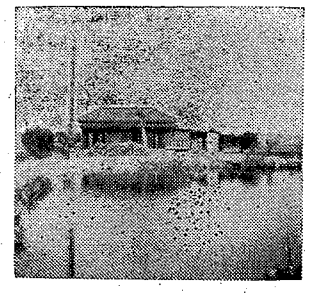
中小企業労働相談定例日

＝毎月第二木曜日＝

但し毎月第三木曜日には草加公共職業安定所、又は工業会館で相談に応じています

町営火葬場案内

既報、一月一日から町営火葬場として発足しました火葬場は、蒲生地区登戸東向七八九番地の一にあり、新国道より耕地内を東に一キロ入つた耕地中にあり、木造平屋建瓦葺一棟十二坪と便所一棟半坪の建物ですぐわかります、火葬場使用料についても十二月定例町議会で決定しました通り、死体一個につき大人千八百円、小人（十二才未満）千円で、葬儀車使用料も一回につき二百円となつております、取扱は厚生課と蒲生支所（厚生課）



鳩ポッポで愛唱された白子鳩（しらこばと）
國の天然記念物に指定さる

既報、当町に生息している白子鳩が天然記念物の国指定をうける状況調査が、二九年十二月以来県教育委員会、県文化財保護委員会とで行われておりましたが、このほど官報に指定する告示が出され、ここに白子鳩が天然記念物として国から指定されることになりました、町教育委員会でも指定された白子鳩の保存方法について、県教育委員会と打合せ具体的に決めることになつております、一般町民かたがたにおかれましても、天然記念物になつた白子鳩の保存にご協力をおねがいいたします、白子鳩は昔から広く愛唱されている鳩ポッポで、越谷鴨場附近に主として棲息し、林、竹林、たんぼなどにもおり、巣は枯枝などで作り、大体卵は一回に二個を産み（大きさは約三センチから二センチ位のダ円形）額部、首、腹部などは白く、背中は褐色で首の後部に黒い筋があり、これが数珠に似ているところから、当地方ではこの鳩を一名数珠かけ鳩とも呼んでおります

町民の声

問　私は昨年六月満二十才に達した青年です、広報にて成人式挙行を知り、私には何の通知もありませんが何故でしょう、昨年の町議及び教育委員選挙には選挙権がありました、私一人ならともかく、もし他にも私と同様な人があるとしたら、当局の手落では済まない、来年もあることなので再調査の上責任ある解答をのぞみます（越谷町一市民）

お答え

答　ご投書のとおりどもつともです、成人式については当教育委員会において昭和三十年十二月十五日（挙式一ヵ月前）現在の住民登録票により調査し成人名簿を作成しました、そしてその名簿により各分団長各支部を通し、更に調査もれのないよう調査した上、成年者一人一人の通知状を作り、青年団の各分団長を通じ通知状を配布したわけです、もしあなたのおつしやるように、成人者からもれたとすれば住民登録に関係があるのではないでしようか、当委員会としましても手落のないよう慎重に調査したわけなので、調査もれがあつたとすれば責任もあり今後ご指摘の点十分考慮したいと存じます、とりあえず広報紙をもつてお答えいたします（町教育委員会事務局）

母子福祉資金の利用発足以来二九件

母子福祉資金の貸付状況は発足以来この方二九件九十一万七千二百円に及んでおります、その内訳は

▽生産資金＝一一件、五五万円▽事業継続資金＝一〇件、三十万円▽就学資金＝八件（高校）六万七千二百円

となつており、この利用者の方々は、次第に更生しつつあり、資金の返済も極めて良好に励行されております、母子福祉資金は、母子家庭の自立更生のために県が貸付けるもので、生業資金には五万円、事業継続資金三万円、修学資金高校月七百円、大学月二千円、支度資金一万五千円を貸付することになつております、母子資金貸入れについてのくわしいことは厚生課厚生係にお尋ね下さい（厚生課）

教育委員会人事異動

▽退職（十二月三十一日付）

鈴木直吉（越小使丁）

＝人事について＝

▽一月十五日発行第三〇号にて掲載した人事異動厚生課勤務（十二月二十二日付）高野京子（新採用）は保健婦として採用しました技術吏員でありました植竹初蔵（一月一日付）新採用は川柳三部落編入合併に伴う町営火葬場が一月一日発足しましたので引続き越谷町職員として採用しましたのでつけ加えます

電話増設お知らせ

町役場では本庁内に次の電話を増設いたしましたのでお知らせします

電話番号　越谷五二二番

編集後記

昭和三十一年の新春を迎え、本町広報活動はどのように進めたらよいかと新年度の年間計画を目下各課の協力をいただいて作成中であります、本号にも掲載した通り三十一年度予算編成は連日中央に陳情し補助金確保にあたつておる状況からしてこれが編成には苦慮しておる現況で果して考えておる広報活動が出来るかどうか、しかし限られた枠の中で最大の効果をあげる仕事を、新たな感覚のもとに考えております、越谷広報の模様と体裁を変えて、町民に親しまれる、十分皆さんの声を反映するように心掛けたいと思います、役場と住民を結ぶ唯一の機関として、町民皆さんの身近な問題や、ご意見をどしどし当企画室までお送り下さることを切望いたします

越谷駅発電車の時間

当町の交通は、越谷駅を基点として、金町、千住、岩槻経由大宮、古河、吉川、野田、安行、浦和方面へ通ずるバス網と、東京都心まで四十分で到達する東武電車があり、町民の皆さんにはたえずご利用されておることと存じますので、ここに便利な発車時刻をお知らせいたしますこの表を切抜き適当な見やすいところにはりつけご利用下さい次号にはバスの時到をお知らせいたします

電車の部（東武鉄道越谷駅発車時刻表）　30.1.20調

浅草 各駅	浅草 準急	時刻	杉戸	幸手	羽生	館林	新大間々伊勢崎	佐野太田	伊勢崎葛生	新鹿沼宇都宮	新栃木	日光宇都宮	越谷止り
°18.45 分	分	時 5	分	分 45	分	分	分 〒57	分	分	分	分	分	分
6.21.31.51	24.34.43.54	6	7.52			16	59					37	
6.11.26.33.48	2.14.22.44	7	51		17		49					35	39
11.35.45	4.24	8	54		28	14	49△				2.52	35	30
1.22.42.47.57	9.20.54	9	59		24	10	49△					34	6.28
20.°31.40.58	9.49	10	53		19		49△					34	14.29
°15.31.43.57	4.48	11	53		23		49△					34	6.39
°20.31.°43.58	6.48	12	54		19		〒49△					39	4.28
°20.31.°52.59	11.48	13	54		14		49△					39	4.43
°20.31.°51	13.48	14		54	16		49△					39	4.43
2.20.31.50.59	14.42.48	15	53		16		49△					34	4.39
20.31.39.56	4.43.48	16	53			16	44					34	4.29
°20.28.°40.48	3.56	17	53			18	44			14	59	34	6.31
°19.34.41	8.24.48	18	43			15	59		9			40	4.27
23.33.56	9.13.48	19		8.39			49	19				34	16
23.°33	14.53	20	5.31						18	34			12.43
23.34.50	21	21	32	3			14				39		20.56
°10.29	7.17.57	22		17.49		39		太田4					31
5		23	9										41

°は越ケ谷始発
一は北千住より各駅
△は羽生迄準急
〒は武里駅停車
太数字は準急電車
尚，蒲生駅利用の場合は　下り10分早目に
大袋駅利用の場合は　上り10分早目に
大沢駅利用の場合は　上り5分早目に

協めぐり（1）

農業協同組合事務所に野口組合長をたづねましたが不在で、佐藤常務理事から大相模農業協同組合の状況をきいてみました、現在事務職員は十一人で農業協同組合資産二千九百二十七万一千余円をあづかり、これが経営事業予算三百九十七万八千余円で運営されております、現在の農協貸付金は二百四十六万円で、貯蓄高は四千万円をのぼる優良農業協同組合で、購売事業としては七六四万円の売上に対して八十二万円の利益をあげており、販売事業も五百八十五万円の仕事をしておるということです、利用事業としては耕転機一台を施設して、組合員に田畑一反平均八百円、代かき六百円で貸し出し、秋から現在まで三十町歩約八十戸が利用して非常によろこばれておるとのことです

この農業協同組合の三十年度事業としては、組合員の組合である趣旨をもととして事業全般に一層のサービスをもつてあたり健全農協として事業を遂行する方針をたて、指導、信用、購買販売、各事業を推進してきました、特に私達の農業協同組合として、組合員や各種団体が利用されておることが定期や普通預金、婦人会、青年団、子供の各貯金高に現れ、めだつております

大相模農業協同組合理事、監事名（敬称略）

一、理事

▽組合長野口茂太郎▽専務理事佐藤長松▽理事石塚義一▽同染谷林之助▽同水野丈太郎▽宍倉寅吉▽同谷塚通正▽同沢田長次郎▽同鈴木康一郎

二、監事

▽野口清次郎▽中村喜四郎▽藤井恒敬

大相模農業協同組合